

令和7年第3回函館市教育委員会定例会 会議録

- | | |
|--------|---|
| 1 日 時 | 令和7年（2025年）3月24日（月） 午後1時30分 |
| 2 場 所 | 市役所本庁舎5階教育委員室 |
| 3 出席者 | 藤井教育長，木村委員，小葉松委員，國谷委員，井口委員 |
| 4 欠席者 | |
| 5 事務局 | 土生生涯学習部長，堤学校教育部長，横田生涯学習部次長，
宮田生涯学習部次長，金野教育政策推進室長，川崎管理課長，
加藤歴史文化資源保存活用担当課長，酒井教育指導課長，櫛田教育政策課長 |
| 6 傍聴者 | 0人 |
| 7 付議事項 | 別紙議事日程のとおり |

■藤井教育長

- 開会宣言 午後1時30分
- まず，日程第1，議事録署名人の指名について，木村委員，小葉松委員を指名する。
- 本日の日程のうち，日程第7 報告第1号「教職員の懲戒処分内申の結果について」を「非公開」としたいが，いかがか。

（異議なし）

■藤井教育長

- 異議がないので，「非公開」とする。
- 次に日程第2，月間事業報告について，事務局の動きについて報告を求める。

■生涯学習部長

- 2月12日だが，令和6年度スポーツ賞贈呈式を開催した。木村委員，井口委員におかれは，お忙しいところご出席いただき感謝する。
- 次に19日だが，高齢者大学湯川校の卒業式が，市民会館で行われ，151名の方が卒業された。
- 次に2月27日だが，高齢者大学朝市校の卒業式が，函館朝市ひろばで行われ，合わせて103名の方が卒業された。
- 次に3月6日だが，第4回教育委員会臨時会を開催し，史跡大船遺跡保存活用計画に関して「議決事項の変更」の議決をいただいた。
- 次に3月10日だが，第5回教育委員会臨時会を開催し，「人事」に関し，議決をいただいた。
- 続いて市議会の関係だが，2月26日から3月18日までの日程で，第1回市議会定例会が開会された。2月26日に教育行政執行方針演説を行い，3月3および4日に代表質

問が行われた。3月7日には予算特別委員会総務分科会が開催され、5名の委員から教育委員会へ質問があった。

- 14日には、市議会定例会本会議が開催され、予算特別委員会に付託された令和7年度予算や補正予算、条例改正など76件の議案が議決されている。
- また、17日から18日には、市議会定例会個人質問が行われ、9名の議員から、教育委員会に係る質問があった。
- なお、第1回市議会定例会の質問一覧と教育委員会に対する質問と答弁をまとめたものを教育委員会に対する質問と答弁をまとめたものをGoogleドライブにアップロードしているので、後ほどご覧いただきたい。

■学校教育部長

- 2月7日だが、第1回教育委員会臨時会を開催し、「職員の処分の決定」について、議決をいただいた。
- 次に18日だが、第2回教育委員会臨時会を開催し、「学校職員の人事内申」について、議決をいただいた。
- 次に20日だが、第3回教育委員会臨時会を開催し、「学校職員の人事」について、議決をいただいた。
- 次に3月1日だが、市立函館高等学校で卒業式が行われた。
- 次に8日だが、第3回教育委員会臨時会を開催し、「人事」に関し、議決をいただいた。
- 次に14日だが、第6回教育委員会臨時会を開催し、「いじめ防止基本方針の決定」に関し、議決をいただいた。
- 同じく14日には市立中学校、18日に市立小学校で卒業式が行われた。委員の皆様におかれては、式へのご出席をいただき感謝する。
- また、この期間において、資料に記載のとおり、「函館市における休日の部活動地域移行推進計画（案）に対するパブリックコメント（意見公募）手続の実施結果について」参考資料を配付させていただいている。

■教育長

- 委員の皆様には卒業式にご出席いただいたが、井口委員、いかがだったか。

■井口委員

- 銭亀沢中学校に行かせていただいたが、少人数で卒業生は15名だったが、小さくてもアットホームな雰囲気でもとても感動的な卒業式であった。

■國谷委員

- 私は、あさひ小学校に行かせていただいた。支援学級の生徒も含めて29名の卒業生ということであったが、やはり少子化ならではというか、ステージの上で卒業証書をもらう前に一人一言を言う場面があり、それもいいなと思って見ていた。何か感謝の気持ちを先

生や親御さんに伝えるというシーンがあり、小学生もずいぶんしっかりしているなど感じられた。来賓としての挨拶のなかで「自分の成長が自分の努力だけではなく、周りから支えられて今がある」というような話をしたが、人に言われるまでもなく、小学生が十分自覚して1人ずつ言葉にできるということは、非常に良いことだと思った。

■教育長

- 私は市立函館高等学校の卒業式に出席したが、この度の卒業式には市長が同席し、直接市長賞の賞状授与、それから祝辞をお話しいただいた。このほか市長は特別支援学校の卒業式にも出席された。

■木村委員

- 自分は、五稜郭中学校と八幡小学校に行ってきた。自分が退職した五稜郭中学校に4年ぶりに行って、ステージで話を出来て非常に良かった。また、以前、小学生の卒業式の服装がすごく華美になって、そこは控えましようと思いがあつたように思うが、今回行った八幡小学校では、ほとんどがこれから入学する中学校の制服だった。ほかの小学校もそうだった感じであつたのか。

■井口委員

- 深堀小学校の卒業式でも、ほとんどが中学校の制服であつた。一時、全員袴じゃないというような雰囲気の時があつたが、どこも変わってきているようだ。

■教育長

- 「早わかり！函館市の学校教育」という学校教育ガイドを発行しているが、そこにも卒業式の服装について、子どもの成長にあつた、その場にふさわしいもの。華美にならないものと記載している。今後も引き続き明記していきたいと思う。小葉松委員はいかがだったか。

■小葉松委員

- 大森浜小学校と青柳中学校に行ったが、大森浜小学校は袴が多く、制服の女の子が何人かいたが8割方袴で、男子も袴の子が何人かいた。ここは前と変わってないんだなと思った。1人が言い出すと増えていくのか、学校の雰囲気なのか。

■教育長

- 雰囲気と言うと、以前の市立函館高校の卒業式は和層が多かった、一方、中部高校に行くとも洋の雰囲気があって、ドレスを着ている子も多かった。しかし、先日出席した、市立函館高校の卒業式では、和装と洋装の方がどちらも同じくらい、中部高校もテレビで見たところ、洋装一色ではなくなったようであつた。だんだんと変わっていくのだなと感じたところだ。

■藤井教育長

- 次に、日程第3、議案第1号「函館市教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部改正に関し、議決を求めることについて」、議案第2号「函館市教育委員会職名規則の一部改正に関し、議決を求めることについて」および議案第3号「函館市教育委員会事務局事務専決および代決規程の一部改正に関し、議決を求めることについて」生涯学習部長から

説明を求める。

■生涯学習部長

- 議案のご説明に先立ち、このたびの規則等の改正については、教育委員会事務局の組織および事務分掌の見直しに伴い、関係する規定を整備しようとするものである。見直しの内容については、学校教育部において、これまでは、教育政策推進室は室長、そのほかの課は生涯学習部の管理担当次長がそれぞれを所管していたが、教育政策推進室を廃止し、学校教育部次長を新たに配置することで部全体を所管することし、これに伴い、生涯学習部の次長を2名体制から1名体制とするものである。さらに、教職員課を新設し、これまで複数の課が所管していた学校の教職員に係る事務を集約し、教育政策課と学校再編・地域連携課を統合するものである。
- それでは議案第1号から議案第3号まで順次ご説明する。
- 議案第1号について、まず、第2条の組織だが、学校教育部に教職員課を配置し、教育政策推進室および学校再編・地域連携課を廃止しようとするものである。
- 次に、第3条の事務分掌だが、まず、生涯学習部において、スポーツ振興課に市民スケート場、文化財課に大船遺跡縄文広場および垣ノ島遺跡縄文広場を追加している。次に学校教育部において、学校教育課については、廃止する学校再編・地域連携課から特認校制度に関する事務を移行し、教職員に係る事務を新設する教職員課に移行する。そして、教育政策推進室を廃止し、それに伴い、教育政策課の「学校における教育課程等の調査研究に関すること」「学校教育に関する主要な施策および事業の調査研究、規格および立案に関すること」を削除し、学校教育部の各課の事務分掌の中で対応することとする。また、教育政策課と学校再編・地域連携課を統合することに伴い、学校再編・地域連携課の事務を教育政策課に移行しようとするものである。
- 第3条第2項では、文化財課に両縄文広場に関する事務を追加したことに伴い、教育事務所の事務分掌にも同じく記載を追加している。
- 第4条第1項、第3項および第5項では、教育政策推進室の廃止に伴い条文を整理している。
- 次に、議案第2号は、教育政策推進室の廃止に伴い、教育政策推進室長を削除するものである。
- 最後に、議案第3号は、まず第7条の事務の代決について、部長の代決だが、生涯学習部、学校教育部にそれぞれ1名の次長を配置すること、および教育政策推進室を廃止することに伴い、規定の整備をするものである。
- 次に、第8条別表第2の個別専事項については、先ほど、議案第1号でご説明させていただいた教育委員会事務局の事務分掌の見直しに伴い、規定を整備するものである。
- なお、各規則・規程の施行期日は、令和7年4月1日とするものである。

■藤井教育長

- 議案第1号、第2号、第3号について何かあるか。

■國谷委員

○ 聞きたいことがあるが、こういったいわゆる規則というものは、最終的な変更に関する決定権者とは誰なのか。

■生涯学習部長

○ 教育委員会である。

■國谷委員

○ 承知した。

■藤井教育長

○ 他に何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

○ 議案第1号、第2号、第3号について、原案のとおり決定する。

○ 次に、日程第4、議案第4号「(仮称)総合ミュージアムの整備にあたっての基本的な考え方の決定に関し、議決を求めることについて」生涯学習部長から説明を求める。

■生涯学習部長

○ 本件については、前回の教育委員会定例会においてご報告をさせていただいたが、「(仮称)総合ミュージアムの整備に当たっての基本的な考え方(たたき台)の成案化」については、2月19日に市議会総務常任委員会に参考資料として配付をし、3月13日に開催された総務常任委員会の中で、ご説明およびご報告をさせていただいた。3月13日開催の総務常任委員会の中で、委員会から、たたき台の3番、修正後の資料で見ると2番であるが、(仮称)総合ミュージアムのコンセプトに関して、そのメインコンセプトの「①博物館法が規定する機能を持ったミュージアム」については、当初は「博物館法が規定する機能を持ったミュージアムとして整備するのは当たり前であるので、削除した方がいいのではないか」という検討会議の意見をふまえ、削除するという方向で検討していたが、総務常任委員会の方から、博物館法に基づく整備であることは明示すべきである旨のご意見があり、改めて検討した結果、削除しないこととする再修正を行ったところである。その他については、以前教育委員会にお示しした内容と修正はないが、本案について、本日の教育委員会定例会において決定していただくものである。

○ なお、本日配付している資料のうち、新旧対照表については、前回の教育委員会定例会で配布したものに、修正箇所やその内容を分かりやすくするよう、矢印等の注釈を加えたものとなっている。

■藤井教育長

○ 議案第4号について何かあるか。

■小葉松委員

○ 私が読んで違和感があったのが、1行目の「私たちが暮らすここ函館は我が国の中で有数の歴史があるまち」という表現だ。北海道の立ち位置を考えると、有数という文言が重たすぎないかと感じた。日本の歴史というと、やはり九州や関西は半端なく古い歴史を持

っている。なので、歴史があるまちということはわかるが、有数という言葉を入れてしまうと、個人的には、こんな大袈裟な言葉を使って大丈夫かという、率直な感想を抱いた。なぜ、有数と言えるのか。函館より歴史がたくさんあるまちは山のようにあるではないか。「歴史がある街です。」や「北海道においては」という表現が入れば違和感はないのだろうが、「我が国」と入っている。この点に誰も何も言わなかったのかというのが一つと、もう一つは、1番の配慮しなければならない事項のところだが、③と④に関しては、観光客を誘致できる観光資源、経済波及効果というところ、これを入れてしまうと、博物館としてはとても困難な話だと思う。実際に③と④の条件を満たしている博物館というと、自治体立で、どこのことを言っているのだろうかと思う。国立のように、国がたくさんお金をかけて、素晴らしい展示がある博物館は沢山あるが、自治体立で、函館くらいの規模で、例えばでいいのでこうした条件を満たしていると思われる博物館を言ってみてくださいよと、そういったときに、まったく手本になるようなところがないとすると、これ最初に入れてしまうと、④の経済波及効果を理由にして、将来的にこういう目標だったのに、全然観光客が来ないじゃないかという、そういう批判にさらされることをとても心配している。また、自治体博物館は、観光客を呼ぶことがメインの目的ではないと思うので、それはおそらくお金を増やしたいと思う人たちがこれを入れたのだろうと思うが、博物館の使命として、私は③と④はちょっとどうかと思う。将来的にこれが問題になってくるかもしれないというように考えた。

■生涯学習部長

- 2点ご指摘があったと思うが、1点目は1行目の部分。小葉松委員から、この「有数」という表現に関し、何か指摘はなかったのかとのご質問であるが、これまで検討会議や議会に、こういった形でお示しをし、議論をいただいてきた中では、該当部分についてはむしろ、自分たちのまちのこういった歴史や文化をもっと誇っていくべきではないかというような話の方が大勢を占めていたというように私としては受けとめている。
- それから2点目だが、観光資源あるいは経済波及効果という部分だが、確かに小葉松委員ご指摘のとおり、こういった目的よりも、まず先に博物館本来の目的というものをしっかりと見据えた上で計画し、考えていく必要があるという意見の方が、検討会議の中でも多く占めていたように思う。そういったことから、前文の最後の3行の部分について修正をしている。総合ミュージアムについては、自治体として、やるとすればかなり大きな事業になるということが想定をされるので、これは何の事業にも言えることだが、一定程度お金を稼ぐ、少しでも回収するということはもとより、事業規模に見合った経済波及効果を求めていく、そういった視点は必要なのだろうということで、ここの部分については入らざるを得ないのかなというように考えている。

■小葉松委員

- せめて③と④をまとめて1行だけにするとかしないと、5分の2が経済等に関して言われていると、博物館としてはなす手がない。私は、変な集客をしようと思ってくだらない博物館になることを一番恐れているので、現状、多分そんなに観光客が来てないから、今より多くの観光客は誘致することは出来るかと思うが、より多くのとなるとどうなんだろうと感じる。経済波及効果をもたらすことができる、あるいは、目標としている自治体立の博物館はあるのか。

■生涯学習部長

- はっきり具体的にここが目標だということはお示しできないが、ここは理念的な部分になるのかと思う。観光客の部分についても、どうしても函館は観光メインで経済活動が

成り立っているというような、そういう側面もある。そういった中で、今、分散している5館については、西部地区にある文学館や北方民族資料館は現状でも一定程度、観光客の方がたくさん来ていただいているのかなというように思うが、離れたところにある北洋資料館や博物館本館は、観光客の方が多く訪れるような施設ではないというところで、これが統合して、どこに作るかという問題はあるが、より観光資源としても函館市に貢献でき経済波及効果が生まれるようにと、そういう理念で作成されている部分ではあるので、この辺りは、これが必ずしもメインコンセプトになるということではないのであるが、そういったことにも十分配慮していくべきなのかなと考えている。

■小葉松委員

- 基本的には、③、④、⑤はお金の問題だと思う。なので、これでいくと5分の3お金のことを考えるよとなっている。私としてはもう少し文章を少なくしてほしいと思う。

■國谷委員

- 博物館ではないが、石川県の金沢市に素敵な県立図書館がある。図書館ではあるが、とても綺麗で、観光客にとっても行ってみたいと思えるような場所である。私も行ったことがあるが、公共の施設なので入場料もかからない。図書館とこういった博物館では立ち位置が違ってしまうかもしれないが、観光の中で寄ってみたくなるような、そういったものを目指す、配慮するという部分では③があってもいいように思う。

■生涯学習部長

- どこの自治体も同じだが、函館市も財政が相当厳しくなっている。正直な話、やはりそういったことにも配慮して、期待していただけるような施設でなければなかなかゴーサインが出づらいというところはあると思う。

■教育長

- おそらく、検討会議においては有数の言葉に函館に対する思いのようなものも反映されたのかと思う。また、国が示す博物館のあり方には、観光に関する文言も入っているところだ。ただ、この中で一番博物館のことを見ているのではないと思われる、小葉松委員からのご指摘があったところではあるが、原案についてはこれを決定してもよろしいだろうか。

■小葉松委員

- 1名反対という意見を入れていただきたい。

■教育長

- 承知した。

■小葉松委員

- 私は反対したが、多数決で決めるものだと思う。

■教育長

- 反対意見については、そのように記録する。それでは、議案第4号は原案のとおり決定してよいか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 議案第4号について、原案のとおり決定する。
- 次に、日程第5、議案第3号「函館市における休日の部活動地域移行推進計画の決定に関し、議決を求めることについて」学校教育部長から説明を求める。

■学校教育部長

- 本計画の策定にあたっては、第1回定例会で計画案の議決をいただき、1月16日から2月14日までパブリックコメントを実施したところである。結果として、3名の方から8件のご意見をいただき2月25日に「函館市における休日の部活動地域移行推進計画(案)に対するパブリックコメント(意見公募)手続きの実施結果について」として、各委員の皆様に参加資料を配付させていただいたが、意見を受けての修正は行わなかったところである。
- 従って、第1回定例会で議決をいただいた計画案から内容の変更はないが、本日は本計画の決定に関して議決をいただこうとするものである。

■藤井教育長

- 議案第5号について何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 議案第5号について、原案のとおり決定する。
- 日程6、議案第6号「博物館協議会委員の任命に関し、議決を求めることについて」生涯学習部長から説明を求める。

■生涯学習部長

- 公募委員の転出に伴い欠員が生じていたが、後任として、銭谷 加奈 氏を、本日から前任者の在任期間である令和8年2月21日まで任命しようとするものである。

■藤井教育長

- 議案第6号について何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 議案第6号について、原案のとおり決定する。
- 次に、日程第7、報告第1号「教職員の懲戒処分内申の結果について」学校教育部長から説明を求める。

(非公開につき、会議録省略)

■藤井教育長

- 次に日程第8，報告第2号「令和7年度公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団事業計画の報告について」生涯学習部長から説明を求める。

■生涯学習部長

- 「公益目的事業」の「文化の振興に関する事業」については，1ページから4ページに記載のとおりとなっている。「公益目的事業」の「スポーツの振興に関する事業」については，4ページから6ページに記載のとおりとなっている。「収益事業等」については，6ページから7ページに記載のとおりとなっている。収支予算書だが，只今ご説明した事業を行うための収支予定が，8ページから13ページのとおり計上されている。
- なお，本件については，当該財団が市の100%出資団体であることから，地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき市議会2月定例会で報告を行っている。

■藤井教育長

- 報告第2号について何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 次に日程第9，報告第3号「令和7年度一般財団法人函館市学校給食会事業計画の報告について」学校教育部長から説明を求める。

■学校教育部長

- 令和7年度の事業計画であるが，例年と同様に，学校給食用物資の安定供給に関する事業，学校給食用物資の安全確保および衛生管理に関する事業ならびに学校給食に関する調査研究を行うこととしている。収支予算書においては，只今ご説明した事業を行うために収支予算が計上されている。
- なお本件については，学校給食会が市の100%出資団体であることから，地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき，市議会2月定例会で報告を行っている。

■藤井教育長

- 報告第3号について何かあるか。

(意見なし)

■教育長

- 次に日程第10，報告第4号「全国体力・運動能力，運動習慣等調査の結果概要について」学校教育部長から説明を求める。

■学校教育部長

- 令和7年第1回教育委員会定例会において，函館市における令和6年度全国体力・運動能力，運動習慣等調査結果の「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に関して御判断いただいたが，今回は，本市の調査結果の概要を説明する。

- 資料1ページをご覧ください。調査は、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、改善を図るとともに、継続的な検証改善サイクルを確立すること、また、学校における指導等の改善に役立てることを目的とし、国・公・私立学校の小学校第5学年および中学校第2学年の全児童生徒を対象に、悉皆調査を行っているものである。
- 調査内容については、(3)をご覧ください。小中学校とも、8種目の実技に関する調査と、質問紙調査の2つで構成されている。
- 2ページをご覧ください。結果の概要について説明する。本市の小学校の体格の状況については、表の赤色の線が全国平均で、青いグラフが男子、オレンジのグラフが女子を表しており、身長、体重ともに全国平均を上回っている。また、小学校男子については、中等度肥満、軽度肥満の割合が、小学校女子については、中等度肥満の割合が全国平均に比べ大きく上回っている。
- 3ページをご覧ください。中学校の体格の状況であるが、小学校同様、身長・体重ともに、全国平均を上回っている。また、中学校男子については、高度肥満の割合が、全国平均に比べ大きく上回っている。
- 4ページをご覧ください。実技に関する調査結果だが、調査項目である小中学校各8種目の記録について、点数化した合計点数の全国平均を50としたT得点については、小学校男女、中学校男女ともに、全国平均を下回っているが、小学校男女については、全国平均との差が1ポイント以内となっており、全国平均にほぼ近い結果となっている。
- その下は、種目別の状況について、T得点の全国平均を50として、赤い線で示しており、上段の青いグラフが男子、下段のオレンジのグラフが女子の結果を表している。
- 種目別で見ると、小学校では、男女とも「握力」「長座体前屈」「反復横跳び」「ソフトボール投げ」が全国平均を上回り、その他の種目では全国平均を下回る結果となっている。
- 5ページをご覧ください。同じく、中学校における実技の調査結果だが、種目別で見ると、男子の「握力」、女子の「持久走」が全国平均を上回り、その他の種目では、全国平均を下回る結果となっている。
- 6ページをご覧ください。児童生徒の質問紙調査の結果だが、「運動が好き」では、小学校男子で全国平均を若干下回ったが、小学校女子、中学校男女は全国平均を上回る結果となっており、「運動やスポーツが大切だ」と回答した割合は、小中学校の男女において、全国平均を上回る結果となっている。
- 一方、小中学校の男女とも、「朝食を毎日食べる」と回答した割合は、全国平均を下回っており、「TV、ゲーム、スマホ等の視聴時間が3時間以上」と回答した割合は、全国平均を上回る結果となり、生活習慣の改善が課題となっているが、中学校男女においては、昨年度と比べると、改善の傾向が見られている。
- 7ページから10ページの資料については、過去5年間の経年変化となっている。なお、10ページの、小中学校男女それぞれの一覧表だが、6ページの掲載内容にあわせ、ICTに関わる内容は令和4年度分より、その他の内容は令和5年度分より変更している。
- この後、さらに詳細な分析を行い、市教委としての取組に生かしていきたいと考えている。

■藤井教育長

- 報告第4号について何かあるか。

■木村委員

- 感想だが、だいたい例年通りの傾向が今年もというだが、中学校の女子の持久走が全国を上回っている。これはなぜかときいても良いか。

■学校教育部長

- 今回の調査結果では高く出ていたが、そういった調査結果を含めて、体力の部分はもう少し分析が必要かというふうには思っている。質問紙に関しても、やはり朝食の部分や、テレビ・ゲーム・スマホ等の使用時間が長いという、全国学力テストの状況とも少し似たようなところがあるので、そういったところも比較をしながら、しっかりと分析をしたいと考えている。

■教育長

- 他に何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 次に、日程第11「今後の主な日程について」管理課長から報告を求める。

■管理課長

- 次回、令和7年第4回定例会の日程は、4月7日（月）午後3時30分から、市役所本庁舎5階教育委員室で行う。
- その他行事について、令和7年度第1回定例校長会議が4月3日（木）午前10時から市民会館で開催されるので、ご出席方よろしくお願いする。
- そのほか、市立小・中・義務教育学校、幼稚園の入学式が4月7日（月）、市立函館高等学校の入学式が4月8日（火）に予定されている。

■藤井教育長

- これで、定例会を終了する。

■終了宣言

- 午後2時18分

議事録署名人 木 村 雅 彦

〃 小葉松 洋 子

調製者庶務係 庭 田 真 由